

平成 30 年度 学校評価報告書

平成 30 年度学校目標	取 組 の 内 容	
	具 体 的 な 手 立 て	評 価 の 観 点
<p>○新学習指導要領への移行をふまえ、主体的、対話的、深い学びを実現するための取組を実施する。</p> <p>○新学習指導要領に基づく教育課程編成に向けた検討組織の準備を進める。</p> <p>○部活動の活性化を図る。</p> <p>○年間行事計画の作成にあたり、授業時間の確保とともに学校行事の精選をはかる。</p>	<p>(1) 校内研究の一連の取組（相互授業参観～学習成果発表会）を、昨年度までの取組をふまえ、教科単位で行う。</p> <p>(2) 新学習指導要領に基づく教育課程編成に向けた組織を立ち上げ、検討を始める。</p> <p>(3) 部活動への新入生全員の仮入部エントリー制により参加機会をつくる。</p> <p>(4) 新規の体育祭をはじめ、年間行事計画の作成にあたり、各グループと連携を図り、企画運営と行事の精選を行う。</p>	<p>(1) 生徒による授業評価の該当項目における「かなり当てはまる」の回答率が増えたか。</p> <p>(2) 新学習指導要領に基づき編成方針などの検討を始めることができたか。</p> <p>(3) 部活動への加入率が上がっているか。また1年後退部した生徒の割合は前年より減っているか。</p> <p>(4) 授業時間を確保したうえで行事運営および精選ができたか。</p>
<p>○様々な場面で地域社会の一員としての規範意識を育む。</p> <p>○校内の教育相談体制を充実させるとともに、外部機関との連携を図り個に応じた支援体制を整備する。</p> <p>○学校いじめ防止基本方針に基づく取組を推進する。</p>	<p>(1) ①「挨拶」「アイコンタクト」「リスペクト」を推進する。</p> <p>②服装・頭髪・遅刻・授業規律について、年間を通して担任、学年、グループと段階を追って指導を行う。</p> <p>③日常的に駐輪指導、校内巡回指導を行う。</p> <p>④定期的に自転車点検、自転車乗車マナー指導、登下校指導を行う。</p> <p>(2) ①養護教諭とスクールカウンセラー・教育相談コーディネーターを中心とした教育相談体制を整備する。</p> <p>②定期的・必要に応じたいじめ防止アンケートの実施や個別面談の実施等により、いじめの早期発見と、いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりに努める。</p>	<p>(1) ①～④の取組みにより、地域社会の一員としての規範意識を育むことができたか（指導件数、近隣住民からの苦情件数、担当教員による評価）。</p> <p>(2) ①の取組みにより、校内教育相談体制の整備が進んだか。②の取組みにより、いじめの早期発見・いじめの起きない環境づくりができたか。</p>
<p>○1年：学習に意欲的に取り組み、基礎学力を身につけ、自己の興味関心や適性を理解し、将来の職業を意識して進路を考えることができるようにする。</p> <p>○2年：興味関心を持った事柄に積極的に挑戦しようとする姿勢を育む。将来を見据えた進路実現のための方策を示唆し、具体的な支援を行う。</p> <p>○3年：自分の弱点や課題を自覚し、進路実現に向け、粘り強く取組み、諦めずに克服しようとする姿勢を育む。</p> <p>○夏季休業期間などを活用して、基礎学力の向上を図る。</p>	<p>(1) 高大接続制度改革のねらいと内容を研究し、より進路実現が可能となるよう、指導方法等の充実に努める。</p> <p>(2) 1年では、適性検査等で自己理解し、いろいろな職業を知り、必要な学習について理解を深め、進路の方向性を固めることができるように、ガイダンス等の事前事後指導体制を充実させる。</p> <p>(3) 2年では、分野別ガイダンス等を通して、就きたい職業やそれを実現するために必要な手立てを考えさせる。適切な助言が行えるよう職員研修を充実させ情報の共有のあり方を改善する。</p> <p>(4) 3年では、安易な方向に流されることなく、受験方法等を明確にして、自己実現を目指す指導を行う。そのための情報収集の仕方、学習支援のあり方等を検討する。</p> <p>(5) 夏季休業期間の補習・講習の計画を立て、生徒の参加を働きかける。</p>	<p>(1) ポートフォリオ等、高大接続制度改革のねらいと内容を研究し、指導に生かすことができたか。</p> <p>(2) 進路意識を持ちそれに伴う行動ができるようになったか。（意識調査実施、インターシップ等への参加人数、振り返り記述分析）</p> <p>(3) 自分の適性を知り、オープンキャンパス等参加での情報収集を通して必要な知識の定着、将来の目標が明確になったか。（振り返り記述分析）</p> <p>(4) 受験に耐えられる基礎学力、基本的な学習習慣が定着したか。意欲的に発展的学習に取り組めたか。（講習や模試の参加人数等）</p>
<p>○学校周辺の清掃等で、地域の清掃や環境の保全に協力する。</p> <p>○地域、分教室と連携した学校行事に様々な分野での参加や協力を求め、学校からも地域行事への積極的な参加を図る。</p> <p>○授業や部活動において、近隣の小中学校との交流を図る。</p> <p>○学校説明会・中学校訪問等の情報発信の効果を高める取組を行う。</p>	<p>(1) 年2回の地域清掃活動と上和田中学校との連携で実施する登校清掃活動を継続的に実施する。</p> <p>(2) 地域の文化的行事に参加し、本校文化祭でも多くの一般の方々を招き、交流を推進する。</p> <p>(3) 学校外へのボランティアや部活動レベルで福祉施設や近隣小中学校への訪問の機会を増やす。</p> <p>(4) 中学校訪問を発展させ、本校職員が中学生・保護者に対して直接情報を発信できる機会を増やす。</p>	<p>(1) 地域と合同した清掃活動・環境保全活動が行うことができたか。</p> <p>(2) 地域の行事に本校の生徒が参加し、文化祭でも地域交流ができたか。</p> <p>(3) 学校外へのボランティア参加生徒を増やし、関心が持てるよう活動したか。</p> <p>(4) 中学校で行われる進路説明会への参加回数が増えたか。</p>
<p>○DIG（図上訓練）を総合的な学習の時間やLHRで実施する。</p> <p>○清掃用具を計画的に刷新し、清掃や分別の意識が持てる環境を整備する。</p> <p>○地域の指定避難所としての役割を再確認し、発災時の対応について検討する。</p>	<p>(1) 生徒向けにDIG（図上訓練）を実施して、災害に備える意識を醸成し、学校として備えるべきことを再確認する。</p> <p>(2) 清掃用具を刷新し、効率的な配置を考え、職員自らが教育環境の整備、校内美化を心がけ、日々の清掃活動の充実に努める。</p> <p>(3) 市役所担当課や地域住民との連携を通じ、指定避難所としての受け入れ態勢を構築する。</p>	<p>(1) 防災意識が高まったか。</p> <p>(2) 生徒の美化意識・緑化意識が高まったか。</p> <p>(3) 指定避難所開設についての学校側の態勢が整ったか。</p>